

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 24日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県鹿沼市深程990番地30

氏 名 ジャパンテック株式会社

代表取締役 古澤 栄一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0289-85-7988

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ジャパンテック株式会社 宇都宮工場
事業場の所在地	栃木県鹿沼市深程990番地30
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業・プラスチック製品製造業・廃プラスチック製品製造業 [1852]
② 事業の規模	製造品出荷額 25億3千万円/年
③ 従業員数	42名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油
	排出量	742.98 t	378.27 t	0.20 t
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	
	排出量	650 t	300 t	
	(今後実施する予定の取組) ・廃プラスチック類 →一部を燃料（フラフ）として売却を検討。 ・汚泥 →脱水を強化し、含水率を改善し排出する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工程で発生した廃プラ（ラベル類）を単一で保管。 ・排水処理で発生した汚泥を単一で保管。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組)			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

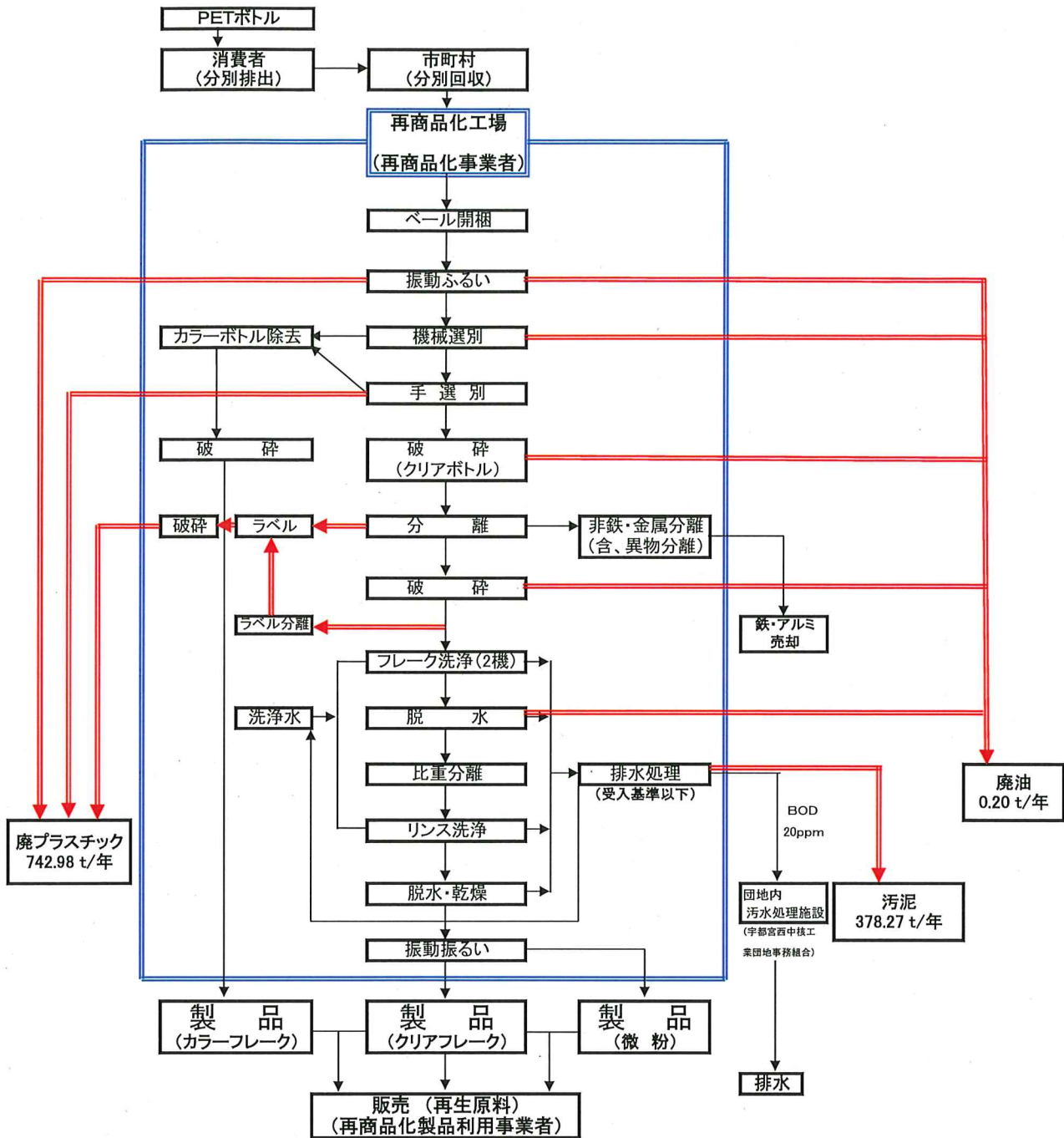
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油
	全処理委託量	742.98 t	378.27 t	0.20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	531.95 t	378.27 t	0.20 t
	再生利用者への処理委託量	742.98 t	197.73 t	0.20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)			
別紙3のとおり				

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥
	全処理委託量	650 t	300 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	500 t	300 t
	再生利用業者への 処理委託量	650 t	200 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・廃プラスチック類 →一部を燃料(フラフ)として売却を検討。 ・汚泥 →脱水を強化し、含水率を改善し排出する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

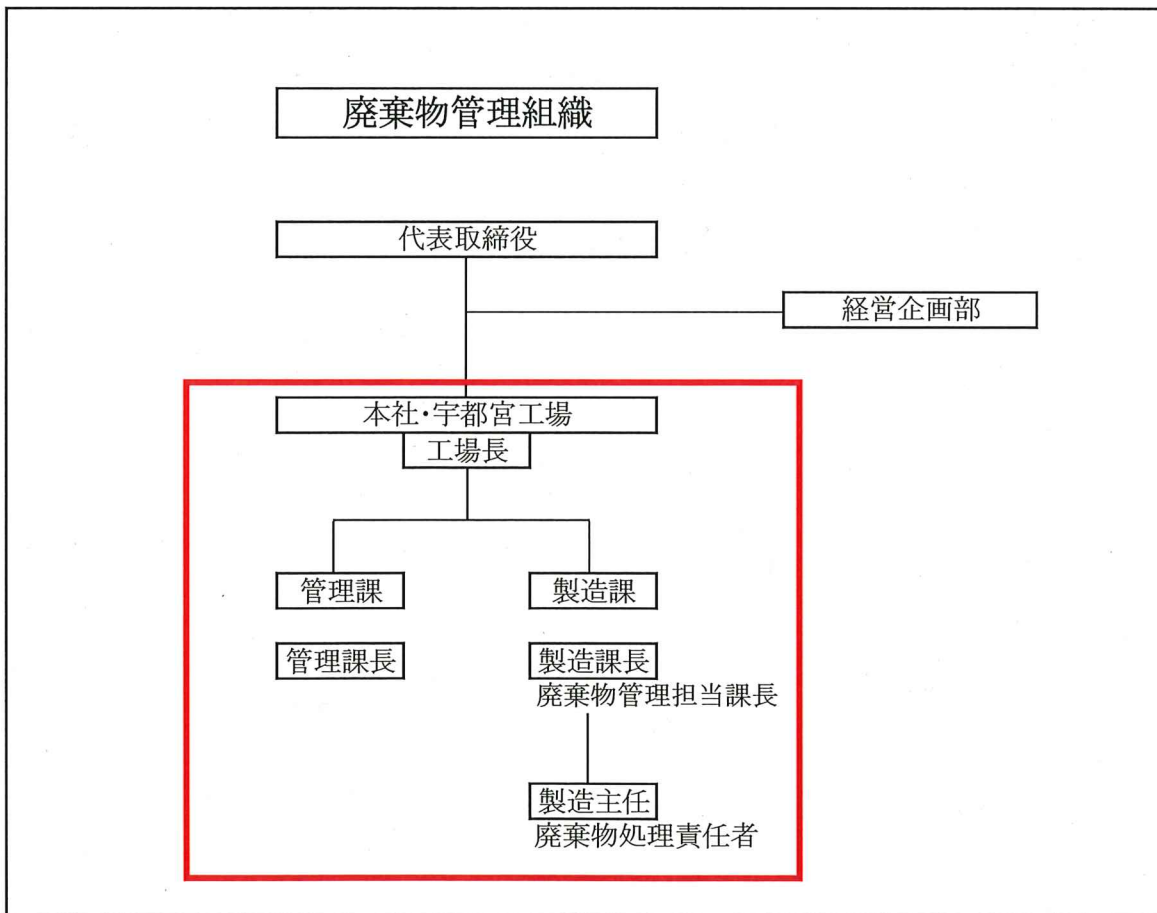
処理方法概要フロー図
(PETボトル再商品化)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

統括責任者		所 属:宇都宮工場 職 名:経営企画担当部長
廃棄物担当		組織名:製造課 職名:工場長 組織人数:3人
役割	統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 処理業者、再生利用業者の調査・選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画の策定 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 社員、関連会社に対する教育・啓発 ○ その他関係する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(1)管理体制の強化

①管理体制(組織)

工場内の各部署と連携し、廃棄物処理対策を行う。

②管理方法

廃棄物管理規定の作成を検討する。

(2)教育・研修

発生する廃棄物の種類・発生状況・処理方法・処理に関する留意事項を整理し、従業員に教育・研修等を行う。

○廃棄物管理責任者

財団法人日本環境衛生センターが認定する廃棄物処理施設技術管理者の「ごみ処理施設コース」の認定講習の修了証取得

○廃棄物処理責任者

財団法人日本環境衛生センターが認定する「破碎・リサイクル施設技術管理士」の資格取得

○廃棄物処理担当者

廃棄物関係法令、関係官庁の指導方針を周知、徹底するための教育
各製造ラインにおける廃棄物担当者に廃棄物の取扱いの実務教育